

日本学術会議 国際対応分科会 自己点検報告書

国際対応分科会(小委員会)名 IUOAS分科会

更新日 2010/6/14

(2009/05/01の形式)

国際学術団体に関する事項

国際学術団体名

(和文) 国際オリエント・アジア研究連合

(欧文) International Union for Oriental and Asian Studies

(略称) IUOAS

日本学術会議加入年(西暦) 1952 年

運営組織の名称・役員の構成等

運営組織の名称(欧文) Executive committee

	会長	会長代理/次期会長	副会長	事務局長
(氏名)	Gyorgy Hazai		斉藤 明 他	J-L Bacque-Grammont
(国)	Hungary		日本	France

役員選出方法の概要(120文字程度で記載)

数年に一度開かれるICANAS(国際アジア・北アフリカ研究会議)の際に、加盟団体の代表が集まって役員会を開き、その場で選出を行なう。その上で、総会で承認を得る。

加入国・地域の数 18 ヶ国

主要加入国(10ヶ国程度を列举)

日、米、インド、独、仏、蘭、露、伊、トルコ、カナダなど

国際学術団体のホームページURL

国際学術団体の年間運営経費

1,000 €

日本の分担予定額[事務局で記入]

12千円(2012年度)

国際学術団体の活動状況

総会・学術研究集会の開催状況(過去10年間・開催年の新しいものから順に5件まで記載)

開催年 (西暦)	会議の名称	開催地	参加者数	日本からの 参加者数	学術会議共催/ 協賛の有無
2007	第38回国際アジア・ 北アフリカ会議	アンカラ市(トルコ 国)	2000人	30人程度	無
2004	第37回国際アジア・ 北アフリカ会議	モスクワ市(ロシア 国)	1600人	70人	無
2000	第36回国際アジア・ 北アフリカ会議	モントリオール市 (カナダ国)	830人	104人	無

運営に関する会議の開催状況(過去10年間・開催年の新しいものから順に5件まで記載)

開催年 (西暦)	会議の名称	開催場所 (機関等)	参加国数	日本からの 代表者名	学術会議の 代表派遣数
2007	IUOAS運営委員会	アンカラ市	10カ国	高崎直道	2
2004	IUOAS運営委員会	モスクワ市	10カ国	高崎直道	1
2001	IUOAS運営委員会	モントリオール市	10カ国	高崎直道	1

出版物等(主要な定期刊行物・不定期刊行物を刊行頻度とともに箇条書きで記載)

活動状況(各項目につき過去5年間の状況を120文字以内で記載)

国際機関等の提唱で行った活動
国際機関等への提言等
国際事業等への参加・実施等
第38回ICANAS会議(2007年アンカラ開催)の組織・運営を支援した。具体的には、運営委員会において開催地を決定し、会議開催に関連する諸問題の検討を行うとともに、その後の準備期間及び開催期間を通じ、トルコでの会議主催機関と協力して、参加諸国との連絡などの活動を行った。また、次回開催国の決定に関する協議を行った。
全世界的/地域的研究課題への取組み
発展途上国への対応

関連学術分野の動向と今後の重要課題(120文字以内で記載)

アジア諸地域でのアジア研究の活発化に対応し、東洋学の長い伝統を生かしつつ、ヨーロッパ中心的性格を脱した新たな発展の必要性に直面している。
--

国内における国際学術団体への対応状況

国際学術団体の役員就任状況(過去10年間・新しいものから遡って5件まで記載)

国際学術団体における 役職名	氏名	任期	
		開始年	終了年
会長	高崎直道	2000	2007
名誉会長	高崎直道	2007	任期無し
副会長	斉藤明	2007	任期3～5年

学術会議の国際対応分科会(小委員会)名 IUOAS分科会

学術会議以外の国内対応組織・委員会等

--

国内の関連学協会等の状況(主要なもの5件まで記載)

学協会の名称	会員数	学協会のホームページURL
財団法人東方学会	1500	http://www.tohogakkai.com/
日本中国学会	2000	http://wwwsoc.nii.ac.jp/cgi-bin/ssj3/
東南アジア学会	600	http://www.jsseas.org/index.html
日本印度学仏教学会	2400	http://www.jaibs.jp/
日本南アジア学会	500	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasas/

学術会議の国際対応分科会(小委員会)の活動状況

学術会議の国際対応分科会(小委員会)名 IUOAS分科会
 所属分野別委員会 史学委員会

分科会(小委員会)の構成

委員長	副委員長	幹事	
岸本美緒	斉藤明		

会員数	連携会員数	特任連携会員数
0	6	

分科会(小委員会)の活動方針(箇条書きで120文字以内で記載)

IUOASの主な活動は、数年ごとに開かれるICANAS会議を支援し、その継続性を維持することであり、活動はICANAS会議の前後に集中している。本分科会も、ICANAS会議の案内に応じて、日本の研究者への広報、日本の研究者を中心としたパネルの編成などを行うことを中心とする。2007年9月にトルコのアンカラで第38回大会が開かれたが、次回の日程は不明であるため、次回大会の日程決定を待って活動を行う予定である。

今期の会議開催状況(開催日時の新しいものから遡って6回まで記載)

会議開催日時 (2009/05/01の形式)	主な審議事項・議題等
2008/12/19	役員を選出し、今期の活動方針について討議した。

日本における国際学術団体の活動の周知・広報の状況(箇条書きで120文字以内で記述)

ICANAS会議については、日本の東洋学研究者のなかではよく知られており、ICANAS会議の前には、本分科会を通じ、関係の学協会や主だった個人研究者に通知が送られている。

国際対応における国内学協会との連携状況(箇条書きで120文字以内で記述)

同上

特記事項・国際委員会による指摘事項等への対応状況(箇条書きで120文字以内で記述)

分科会・小委員会活動の自己評価等(箇条書きで120文字以内で記述)

2006年から2007年には、次回のICANASを日本で開催するかどうかという問題をめぐり、ICANAS小委員会を組織し、かなりの回数にわたって合議を行ったが、次回の開催地及び日程が未定であるため、今年度については、具体的な日程や運営方針が決まってからそれに対応するというので、あまり活動を行っていない。